

中標津町水道料金の改定における答申について

<日 時>令和2年1月17日（金）14時00分～14時15分

<会 場>中標津町役場2階 町長室

<出席者>中標津町長

上下水道運営委員会 豊田委員長

簡易水道運営委員会 長正路委員長

建設水道部長、【進行】上下水道課長

町では、清浄にして豊富低廉な水の供給を図り、持続可能な経営基盤の強化を図るため、老朽化施設の更新や、災害へ備えるための財源を確保する必要があることから、今年度4月より、管理運営に係る諮問機関である上下水道運営委員会と簡易水道運営委員会の両運営委員会で、改定内容について審議してきました。

令和元年12月23日に中標津町長より諮問されたのを受け、これまでの審議を重ねてきた内容を踏まえ、今回、両運営委員長より町長へ答申されました。

町ではこの答申を受け、中標津町議会3月定例会にて、料金改定についての条例改正案等を提案する予定です。

<内容報告>

1. 答申書の手交

(1) 上下水道運営委員長より答申 ～答申書の前文を読み上げた後、概要について説明しました。

(コメント要旨)

○安全で安心な水の提供のために、今後も老朽施設の更新や、災害等への備えをしっかりと対応しなければならぬことなどを踏まえると、料金改定はやむをえないとの結論となった。

○今回は営農用区分の超過料金を値上げするということが、他の営業用区分などとのバランス、また将来の料金改定を考慮すると、やはりこれまでのような料金体系では経営が難しいと理解。

○しかし、使用者の負担増を考えると、段階的な値上げが望ましいという内容となったところ。

○また、今後の課題としては地下水を利用することも考えられる大口の使用者への配慮を検討するなどの内容もあるが、そのほか附帯意見として、町民への丁寧な説明を行っていただきたいなど、5つの点を挙げているので、そちらについても、ぜひ経営に反映いただきたい。

(2) 簡易水道運営委員長より答申 ～答申書の前文を読み上げた後、概要について説明しました。

(コメント要旨)

○答申内容は、おおむね上下水道運営委員会の内容と同様。

○簡易水道事業における会計の現状を考慮すると、会計の約9割を占める営農用の区分の改定はやむを得ないという結論。

○ただし、今回の料金改定については、営農用区分のみの改定であり、また超過料金を70円から140円にするという大幅な改定であることから、営農者にとっては大変大きな負担。

○負担が大きくなるので上げ幅を圧縮するべきなどの意見があり、委員会のなかで議論してきたが、施設の更新や災害への備える必要がある簡易水道事業の経営状況や、将来を見据えた料金体系などを踏まえると、2年間で段階的な値上げの方法が妥当であるという結論となった。

○また、酪農を中心とする農業は、365日水を大量に使う特殊な産業であり、本町の基幹産業としての位置づけとして一定の配慮をお願いしたいという内容になっている。

○附帯意見として、上下水道運営委員会と同様の内容となっており、意見を踏まえた取組を今後も行いながら、しっかりとした経営基盤を確立していただきたい。

(3) 町長よりお礼の挨拶

○約1年にわたり、熱心にご審議いただき感謝。両委員長におかれては、意見の取りまとめなど、大変ご苦勞をかけたと思う。答申の内容は、健全な経営のためにおおむね料金改定はやむを得ないということで、改定の必要性について委員の皆様にご理解いただいたことを併せて感謝したい。

2. 懇談 ～審議での話題・苦勞話などを話しました。(主な発言)

○簡易水道事業は営農用区分の利用者がほとんどである。営農者の負担が大きく増えるということで、もろ手の賛成というわけではなかった。(簡易水道運営委員長)

○2人のお力添えのおかげで今日の答申に至ったと思う。調整に感謝します。(町長)

○水道事業を含めて、値上げをするのはやむを得ないところ。当初は営農用区分などの区分の違いなど分からなかった委員もいたが、審議を重ね理解を深めてきた。

やはり、簡易水道事業のことを考えると、営農用区分の料金を上げないと困るということで、委員会で議論をしてきた。(上下水道運営委員長)

○運営に必要な経費については、適切に精査しながら健全な経営を行って参りたい。(町長)

3. 質問等

(報道)

○改定については2年間での値上げということか？

(簡易水道運営委員長)

○諮問では期間について触れていないが、簡易水道運営委員会の答申の内容では、令和2年度より1年ずつ35円、35円と最低限2年間に分けて値上げをしていただきたいという提案をした。

(報道)

○地下水利用者への検討という内容もあったが？

(簡易水道運営委員長)

○現在水道水を使っている使用者が、地下水などに切り替えるのは大変な部分もあるが、新規就農者などが地下水を利用するというケースも考えられる。地下水の使用は安定しているわけではないが、地下水使用が多くなれば料金収入も減るので、対策等を研究してほしいという内容。

(了)



上下水道運営委員長より答申



簡易水道運営委員長より答申



町長挨拶



懇談